

北浦三育通信



October 10, 2006 Volume VII

「本物の体験は人を本来の姿に引き戻す」

10月7日の安息日に北浦三育中学校の女子寮生全員で東京関町教会を訪問しました。当日は、子供と大人の音楽礼拝プログラムを持たせていただきました。女子寮生が学校外で全員で賛美するのは初めての事でしたのでご迷惑をおかけしたことと思います。しかし、子供たちにとっては大変有意義な時であったと感謝しています。寮生は、安息日の朝は日頃より少し遅く起床できる日ですから早朝5時には起床しての出発は、言葉には出さずとも面倒だと感じていた子供たちもいたのでしょうか。ところが、帰校した後の子供たちの感想を読ませてもらった時、一人もれなく「自分でも役に立てた」ということに喜びを感じてくれている事が伝わってきました。今回に限った事ではありません。中国ハンドベルツアーに参加した子供たちにも同様の感想が見られました。これは、子供たちに共通した思いなのでしょう。

人の役に立ちたいという心は、本来誰もが持っているものです。しかし、時としてそれが見えなくなってしまうのは、その心を素直に受け止め、共に喜び、それを評価してくれる人や環境が見いだせなくなっているからに他なりません。北浦三育で学ぶ事の目的には、この「人の役に立つ能力の育成」というものが含まれています。生徒達は、そのために机に向かう勉強以外にも様々な活動に挑戦しています。相手を喜ばせる事につながる学びならばそこに大きな意義を感じるはずで、喜びや「役に立った」感を味わった人ならその感覚を再び体験するために更なる努力を自主的に始めるに違いありません。

昨日、北朝鮮が核実験を行ったと報道があった時、中国ツアーに参加した生徒達は、国境近くで出会った方々の事を心配していました。本物の体験は、人を本来の姿に引き戻すものなのだと感じます。

さよならマイクロバス！



長い間私たちの足となってくれていました Hino レインボーのマイクロバスが9月21日についに廃車となりました。このマイクロバスは横浜三育小

学校から譲っていただいたものですが、ある卒業生は、小中時代ずっとこれに乗っていたと話してくれていました。次のバスは念願かなって首都圏に入る事ができるマイクロバスです。保護者会

の積立金をもとに購入させて頂きました。快調です！これから大切に使用させていただきます。

バプテスマおめでとうございます！

秋の祈禱週最終日（9月23日）に1年生の廣前早輝人君がバプテスマを受けました。おめでとうございます。

2006年10月10日

校長 尾上 史郎